

技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

横浜市 技連協だより

第44号 平成23年8月31日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 小泉 幸男
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-650-5811 F A X 045-650-5862

技連協新会長 就任ご挨拶

この度横浜市技能職団体協議会の会長に就任致しました小泉幸男で御座います。各職四十五団体、会員数万人と言う膨大な団体に今ここに混迷している所です。これも偏に歴代会長さんの指導力と説得力の素晴らしさがこの団体の半世紀近い年月を支えてきたことと思います。特に前会長さんとは二年間、よくわからない事務局との対応等を指導していただき一心を込めて頑張っまいりました。しかしもとより微力の私には到底無理な事だと考え、役員さん全員に各会の責任者になって戴き、責任を持った仕事をしてもらう、この事が定着したならばなんとか今迄通り存続出来るのではないかと、いや今までよりもっと発展するのではないかと確信する所存で御座います。

なんとか技連協の物作りの良さを定着させ、もっともっと広い地域にアピールをしていかなければいけない事、それと我々の悩みである後継者の育成これらをどういうふう

に解決・実行していけばよいのか、やらなければならない課題は山のように有りこれらの問題を市政の方々の指導をいただきながらこれより任期二年の間、誠心誠意をもって取り組んで行きたいと思っておりますので会員皆様のご指導とご協力をお願い致しまして私の就任の挨拶とさせていただきます。



横浜市建具組合連合会
横浜市技能職団体連絡協議会
会長 小泉 幸男



平成 23 年度 横浜市技能職団体連絡協議会 総会

日 時：平成 23 年 6 月 23 日（木）午後 6 時から午後 7 時

会 場：横浜市技能文化会館 2 階多目的ホール

平成 23 年度 横浜市技能職団体連絡協議会の総会が開催され、初めに畠山前会長より挨拶があり、永年会長職を務めてきたが今期より退き相談役に就任することを表明した。これまでの運営に皆様方のご支援ご協力に謝辞を述べ、技連協の今後益々のご発展をご祈念されました。

来賓紹介がされ、横浜市経済観光局 渡辺巧教局長よりご挨拶を戴いた。

○出席者確認 代議員定数 132 名 出席者 80 名 委任状 29 名 合計 109 名により総会成立

○会則により議長 畠山会長

○議事・報告

- 1、平成 22 年度事業報告
- 2、平成 22 年度収支決算報告
- 3、平成 22 年度会計監査報告
- 4、平成 23 年度事業計画（案）
- 5、平成 23 年度収支予算（案）
- 6、その他
- 7、役員改選について

役員辞任に対し林文子市長、畠山滋会長より感謝状の贈呈が行われた。

役員退任者（旧役職）

畠山 滋（会長） 小駒 精一（副会長） 石川 泉（副会長）
石田 高松（常任理事） 大谷潤一郎（常任理事） 大野 勝市（常任理事）
松島 敏章（常任理事） 生形 一治（常任理事）

役員改選により新三役常任理事が決まり、互選により新会長に小泉幸男氏が就任した。

8、新役員紹介

平成 23 年度 三役常任理事・監事及び役職

会 長	小泉 幸男	総括担当			
副会長	塩田 力	総務担当	副会長	鳥澤 俊子	広報担当
副会長	鈴木 邦彦	会計担当	副会長	三村 嘉延	福利厚生担当
会計理事	熊沢 俊明	総括会計担当			
常任理事	芦原 将	総務部長	常任理事	田中 文夫	福利厚生部長
常任理事	堀内 裕司	総務副部長	常任理事	荒井 務	広報部長
常任理事	大胡周一郎	広報副部長	常任理事	加納 希夫	総務副部長
監 事	佐藤 総六		監 事	鄭 恵淋	

○議事進行が順調行われすべて承認され総会を終了した。引き続き交流会が開催され新会長の小泉新会長の挨拶で始まり各会員との交流を深めた

○ 平成23年新春交流会・研修 ○

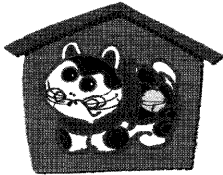
開催日：平成 23 年 2 月 4 日（金）午後 6 時

会 場：ワークピアヨコハマ

畠山会長の挨拶から始まり、来賓 林 文子市長の挨拶を頂き酒宴は開催された。
イベントもフラダンス、カラオケと行われ和気逢い合いと新年を祝った。



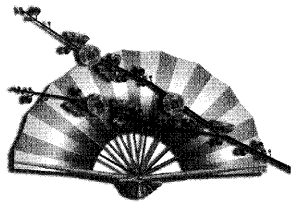
林文子横浜市長ごあいさつ



畠山前会長ごあいさつ



林文子横浜市長と



平成22年度 マイスター認定者



宇佐美 勉（うさみ つとむ） — 理容師 —

理容師の横浜マイスターは2人目で、宇佐美氏は44人目の横浜マイスターとなります。

独自のテクニックカット技法を使った「ZAPカット（2000年発表）」は定評があります。理容業界でレディースカットに挑戦する人が少なかった時期に、レディース分野に挑戦し業界をリードしました。また、薬液知識と塗布技法に卓越しており、毛の流れや立体感等を演出させるカラー剤の塗布技能で一人一人違ったカラーを演出できることにも定評があります。

— 横浜市理容連合会 —

〈横浜市技能功労者表彰とは〉

永く同一の職業に従事し、功労顕著な技能職の方々を対象に、個人の持つ極めて優れた技能と、他の技能職者への模範となり、指導的な立場にある方を称えるために設けられた制度です。

〈横浜市優秀技能者表彰とは〉

同一の職業に従事し、その職種を中心となって活躍している技能職の方々を対象に、個人の持つ優秀な技能と、他の技能職者への模範となる方を称えるために設けられた制度です。

〈横浜市技能職者奨励賞〉

若手技能職者として功績が顕著で、今後の活躍が期待される、全国規模の大会で上位入賞された方を表彰する制度です。

横浜市技能功労者の皆様

☆受賞職種 28 職種 ☆受賞者 67 人

石 工 浦 川 高 男	左 官 西 園 鐵 雄	配 管 金 子 守 夫
石 工 大 薮 清 忠	左 官 神宮司 輝 實	鍼・灸・マッサージ 小 澤 繁 之
印章彫刻 青 山 信 一	左 官 堀 江 義 和	鍼・灸・マッサージ 谷 口 修 一
花卉装飾 小 林 正 仁	左 官 保 下 重 吉	板 金 海 藤 定 吉
型枠大工 森 二 三 男	写 真 師 細 水 亨	板 金 山 内 昭 次
看板製作 齋 藤 充	造 園 岩 間 一 夫	板 金 鈴 木 康 男
看板製作 鈴 木 明	造 園 相 澤 範 松	表 具 師 飛 田 英 夫
着付士 岩 立 かほる	造 園 小 林 哲 夫	表 具 師 木 村 仁 美
クリーニング業 大 川 登	造 園 小 林 和 男	美 容 師 石 渡 道 規
建築大工 望 月 一 人	染物洗張 濱 田 守 安	美 容 師 荻 野 悦 子
建築大工 今 井 孝 興	染物洗張 青 木 光	婦人服裁縫師 秋 澤 ア サ
建築大工 元 村 和 夫	畳 工 田 村 五 三	婦人服裁縫師 飯 田 則 子
建築大工 岡 戸 隆 道	畳 工 相 澤 邦 男	理 容 師 鵜 嶋 政 幸
建築大工 菊 地 正	畳 工 宍 倉 岳	理 容 師 原 英 隆
内装仕上工 森 英 史	建 具 職 伊 藤 敏 浩	理 容 師 湯 川 修 章
建築大工 羽 田 嘉 昭	調 理 伊 原 博 正	理 容 師 池 田 由 蔵
浴槽設備施工 菅 原 實	調 理 福 士 誠	理 容 師 木 村 幸 夫
建築大工 梅 原 勘 治	調 理 藤 澤 マサ江	理 容 師 小 堀 謙 蔵
建築大工 勝 又 公 平	塗 装 菅 野 克 義	理 容 師 尾 形 康 夫
配 管 西 岡 正 人	薦 職 横 溝 磐	和 裁 師 門 脇 惠 子
浴槽設備施工 雪 松 正 巳	薦 職 内 田 道 雄	調 理 清 水 郁 夫
ガス設備工事 小 形 利 明	薦 職 金 子 正 等	
建築大工 五十嵐 忠 治	薦 職 防 後 良 男	

横浜市優秀技能者の皆様

☆受賞職種 25 職種 ☆受賞者 73 人

石工	鈴木 栄二	左官	相田 直人	薦職	本多 孝行
石工	野村 雅之	左官	稲目 吉英	薦職	本郷 健志
石工	白井 寛之	左官	新保 一也	薦職	長崎 尚
印章彫刻	好田 昌史	写真師	大井 慶子	配管	中丸 大輔
型枠大工	佐藤 友則	スクリーン印刷	青山 宗嗣	鍼灸・マッサージ師	松尾 正美
型枠大工	王 國豊	造園	下山 和正	鍼灸・マッサージ師	佐藤 千可生
型枠大工	宇都木 幸一	造園	堀江 伸吾	板金	二宮 康孝
クリーニング業	小野瀬 順一	造園	岸本 進	板金	岡本 昌明
建築大工	齋藤 英樹	造園	泉田 和成	板金	倉田 孝志
建築大工	菊池 幸司	畳工	小島 健	表具師	坪井 紀之
建築大工	吉原 健一	畳工	福井 英浩	美容師	山井 真信
建築大工	永岡 直浩	畳工	矢萩 博	美容師	森本 淑子
建築大工	大橋 秀男	建具職	徳江 泰史	美容師	柴田 しのぶ
内装仕上工	小島 洋一	調理	鹿島 康弘	理容師	青木 絵里
建築大工	荻久保 源一	調理	柳下 誠	理容師	吉村 精一
建築大工	馬場 由紀雄	調理	山木 貴弘	理容師	瀧坪 賢一
土木職	橋本 浩一	調理	小林 俊則	理容師	飯島 道明
建築大工	安保 伸宏	調理	蓑口 貴	理容師	阿部 年昭
建築大工	岡戸 隆之	調理	篠崎 弘通	理容師	和田 稔
瓦工	安積 孝郎	調理	前原 ひとみ	理容師	斉藤 伸一
空調工事	新見 実	調理	宮川 明美	理容師	山本 将人
外構工事	藤野 新吾	塗装	伊藤 武志	理容師	神谷 義一
塗装	鈴木 哲男	塗装	須藤 保	理容師	高橋 茂
内装仕上工	天倉 忠	薦職	徳江 仁		
左官	西園 鉄也	薦職	横溝 知由		



●東日本大震災災害復旧支援活動報告 平成23年4月22日～24日

仙台を訪れて ～東日本震災復興ボランティア～

横浜市技連協青年部
副部長 川上 善紀

「被災した仙台へ復興のお手伝いに行ってみるのはいかがかな？」

青年部代表者会議中、研修先を検討していた所で佐々木相談役（前部長）のアドバイスから、事は一気に進みました。

出来るだけ早い方が良いとの事で、4月22日の深夜、車3台に分乗して横浜を出発し23・24日の2日間、総勢11名で作業をしてきました。

東北自動車道は通行出来たのですが、一部区間ではまだ路面に凹凸が多く、車中で仮眠をとる事が出来ずに23日早朝現地に到着しました。

事前に佐々木相談役が現地の神社宮司の田村みのる氏と打合せ・調整をしていただいていた為、直ぐに被災現場へ向かう事となり、仙台市宮城野区岡田地区という海岸から2km程、内陸に入った場所に伺いました。

通りすがら、いやでも現地の惨状は目に入ってきます。既に自衛隊が道路のガレキを片付けた後で舗装路は車が通れましたが、その両脇はまだガレキが集積しており、ちょっと路地に入ると一部電線が地面に着くほど垂れ下がっている状態です。



岡田地区センターより
(中央ヘルメットが田村氏)



小雨の中、作業開始。内容は農

家のお宅に津波で運ばれてきた汚泥や家財道具の片付です。後から考えると1軒目のお宅が一番大変でした。何しろ農家ですから、納屋、離れ、母屋、通路といたる所に10～15cmほど汚泥が入り込んで堆積しています。泥を手で掻き集めようとする、ガラスの破片がごっそりなんて事も常時です。この汚泥が曲者で海岸沿いに浄水場・工場があり色々な物が入った非常に危険な泥となっています。

居間には冷蔵庫が「突き刺さり」、床には門柱の一部（コンクリート製）が転がり、新しい大型液晶テレビは泥まみれ、海岸沿いの防砂松林は根っこごと畑に転がっています。建物は地震の揺れによる大きな被害は無かったように見えますが全ては津波の力でサッシはねじ曲がり、立派な柱も、建具も建物を水浸しにしてしまっています。

スコップ、バール、一輪車、ハンマー、ロープ、etc…使いそうな物を青年部で用意し、フル活用してメンバーは、泥だらけになって格闘し、なんとか、通路・納屋・8畳間3室を片付ける事が出来ました。

簡単な昼食の後、午後の2軒目はガレキの山を100m程離れた集積場まで移動です。午前中でかなり体力を使っていたが、被災者の方を見ると疲れた顔は見せられず、とにかくやるしかありません。

（頼みの一輪車がパンクする！トラブルで殆んど手運び。重機・動力のありがたさを実感する）



←屋内（ダイニング）



←納屋・通路

4時頃まで作業をして、5時過ぎ宿泊先（仙台駅隣接）に到着しました。

仙台駅前周辺は海岸から少し離れている事もあって、殆んど普通の日常生活送っている様でしたが、気がつくと道路に亀裂、工作物の埋没が所々に見られました。地元の人の話だと10日程前から電気・ガス・水道も震災前と同じ様になったとの事でした。



←ガレキ撤去作業

翌日、3件目のお宅へ。前日からの雨は上り、気温が上がりそうな晴天で

した。

外観は被害があった様には見えませんが、まったく普通です。居住者ご自身である程度までは片付けてありましたが、室内の壁には高さ1.5m近くにくっきりと浸水の跡がありました。しかも和室の天井に1ヶ所だけ、不自然な穴が... 原因をお聞きすると、驚くことに箆笥の転倒防止棒(つっぱり棒)が浸水の浮力で、箆笥ごと持ち上がり、天井を突き破ったとの事でした。

作業は床下の汚泥除去を行いました。和室の荒床・下地根太を剥がし、海から運ばれて基礎の換気窓から侵入した汚泥をスコップで袋に詰めて、運び出しました。

2日目になるとさすがに参加者が慣れてきたようで、役割分担もおのずと決まって、何も言わなくてもスムーズに作業を進めました。(さすが職人の集団です) なんとか午前中で和室2間を除去し、ここで作業終了。

たった2日間のお手伝いでしたが、被災当事者の方々からは大変感謝されました。出発前、自分自身では被害に遭われた方の為と思い行動しましたが、現地の方々には被災されているにもかかわらず、作業後に飲み物を自ら我々に差し出してくださった方や、遠方からの支援に感謝の言葉を惜しまない方や同じボランティアをしていると思われる方々から「ご苦労様です」と声を掛けられたり、他人を思いやるという事を改めて気づかされる自分の為になった様な気がします。

食事をした際、地元の方の話では、津波被害にあった本震よりも4月7日の余震の方が精神的なショックが大きく、復旧・復興に向けての意欲が萎え、あまり頑張るのをやめようと思ったそうです。我々は横浜に帰り、家族と食事し、お風呂に入る日常に戻れますが、被災地ではこの生活が延々と続くようでもあります。被災者の話を聞く事で少しでも相手の気持ちが和らぎ、力仕事や技術の必要な作業だけがお手伝いではない事を参加したメンバーは実感したようです。

1,000年に一度とも云われる、経験した事のない甚大な被害をもたらした大災害です。まだまだ 時間がかかると思いますが、少しずつでも震災前の生活に戻れるよう、技能者集団である技連青年部の行動力と特性を生かし、これからも、応援する気持ちを持ち続けたいと思いました。

今回、参加された技連協青年部のメンバーまた参加できなかった様々な方々のご協力を得て実現する事が出来ました。非常に良い経験をさせていただいたと感謝いたします。

最後になりますが、東日本大震災により亡くなられた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。また、ご遺族の皆様にご挨拶とお悔やみを申し上げます。更には、被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興がなされますようお祈り申し上げます。

・支援活動参加者
加納 部長(スクリーン印刷) 和田信治副部長(理容) 川上善紀副部長(建築士)、
佐々木隆行(木型) 小原 一格(煮豆惣菜) 加藤相憲一(和裁)、
堀内 裕司(スクリーン印刷) 関 清隆(建具) 歌川 晶夫(板金)、
佐久間一郎(板金) 佐藤さん(板金)



←床下の砂・泥



←3軒目のお宅



平成23年3月11日発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、被害は南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。この地震により、場所によっては最大遡上高40.5mにもものぼる大津波が発生し、震災による死者・行方不明者は2万人以上、建築物の全壊・半壊は合わせて20万戸以上、ピーク時の避難者は40万人以上、停電世帯は800万戸以上、断水世帯は180万戸以上に上った。政府は震災による被害額を16兆から25兆円と試算している。[Wikipediaより]

各団体の活動報告

第31回ボーリング大会開催

日時 平成23年3月29日(火)午後6時15分開会

場所 新杉田ボール

参加団体 9団体 50名

個人順位 (3位まで)

優勝 飯田武夫 (横浜市屋外広告美術協同組合)

2位 山本桂一 (横浜市建設労働組合連合会)

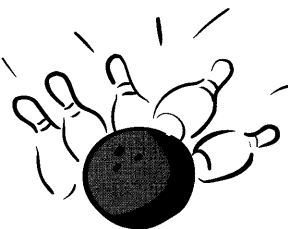
3位 杉崎 進 (横浜市建設労働組合連合会)

団体順位 (3位まで)

優勝 神奈川県洋服商工業協同組合

2位 横浜市屋外広告美術協同組合

3位 横浜市建設労働組合連合会



東日本大震災義援金について

東日本大震災に対して義援金を募り 35団体 2個人 350,000円が集まり、福島県いわき市技能職団体連絡協議会 宮城県仙台市技能職団体連絡協議会へ寄付を致しました。ご協力ありがとうございました。

技連協の行事日程 (予定)

○第32回よこはま技能まつり開催

日時 平成23年9月11日(日)午後10時～午後4時

場所 横浜公園

参加団体 31団体

○横浜市技能功労者表彰・優秀技能者表彰の表彰式

開催日 平成23年10月25日(火)

会場 技能文化会館多目的ホール

○レクリエーション

加盟団体会員によるボウリング大会

開催日 平成24年3月

会場 新杉田ボウル(予定)

○平成24年新春交流会・研修会

開催日 平成24年2月

会場 ホテル横浜ガーデン(予定)



編集後記

今年は東日本大震災が発生、原発事故も重なり大変な幕開けでした。被災者の皆様方にはお見舞い申し上げます。早々に我が技連協青年部が現地に赴き、ボランティア活動をされたことは頼もしい限りです。今後の早期復興をご祈念申し上げます

昨年度は諸般の都合により「技連協だより」の発行が第43号(平成22年7月30日)1回に成ってしまい申し訳ございませんでした。今年度より年2回の発行を予定しています。会員皆様方のご意見ご希望を頂き技連協だよりに反映したいと思います。技連協事務所まで郵送又はFAXにてお送り下さい。宜しくお願い申し上げます。